

4 階段

■基本的な考え方■

高齢者、杖使用者、視覚障害者等が支障なく安全に利用できる構造とする。

整備基準	目標となる指針
<b>4 階段</b> 階段を設ける場合においては、イの表〔建築物〕3の項〔階段〕に定める構造とすること。	<b>2 階段</b> 階段を設ける場合においては、1の表〔建築物〕3の項〔階段〕に定める構造とすること。

整備基準の解説

- 整備の対象  
階段を設ける場合にすべての階段を整備する。
- 建築物の階段と同様に規定している。

目標となる指針の解説

- 整備の対象  
階段を設ける場合にすべての階段を整備する。
- 目標となる指針の建築物の階段と同様に規定している。